

# おじゃまします！

本所は、魅力ある会議所づくりのため、職員が会員の皆さまを訪問し、本所へのご意見をお聞きし、制度や事業の一層のご利用を案内しています。立石義雄会頭も職員とともに、会員の皆さまを訪問しておりますので、その様子を報告いたします。



## 平安建材(株)

代表者 中村 憲夫  
住 所 京・右京区西京極北庄境町 27-1  
TEL 075-311-9600  
Web <http://www.heiankenzai.co.jp>  
事業内容 合板、建材、住宅設備機器卸

中村社長(右)に町家の再生事業や京都検定の活用についてご紹介いただきました。



たくさんの漆器が並ぶ店内で、「MOKU」ブランドの商品を説明する沖野社長(左)

## (株)井助商店

代表者 沖野 俊之  
住 所 京・下京区柳馬場通五条上ル柏屋町344  
TEL 075-361-5281  
Web <http://www.isuke.co.jp>  
事業内容 漆・漆器・カシュー塗料・  
擦染型用材料販売

## 新たな価値を生み出すために

～京都の文化、伝統産業の強みを活かす～

### 平安建材(株)、(株)井助商店

今回は、京都の文化や伝統産業の強みを活かしたビジネス展開で、新たな顧客や価値を創造する会員企業を訪問しました。

住宅建材商社の平安建材(株)は、京都の風情ある街並みを構成する町家の再生事業を展開されています。「景観との調和が求められる京都の住宅条件は、地域を熟知する地場の工務店が強みを発揮できるチャンス」と中村社長。幅広い商品知識と工務店のネットワークを活かして、景観と居住性を両立する住宅モデル「京ぐらし」を提案されています。「社内で京都検定の受験を奨励し、高めた知識を情報発信に活かしています」と中村社長。ホームページでは、再生した町家の住宅性能に加えて立地する地域の歴史や文化を紹介し、京都に住み暮らす魅力を発信されています。「検定の勉強を通じて、社員同士のつながりが強まりました」と別の効果も教えていただきました。

立石会頭は、「自社の強みを発揮するだけでなく、観光産業以外の分野で京都の歴史や文化に関する知識を新たな価値創造に活かしている」「多くの会員企業においても、京都検定をビジネス強化に活用してほしい」と述べました。

次に訪問した(株)井助商店は、江戸時代から続く漆の専門店。伝統工芸に不可欠な漆や漆材料の販売をはじめ、伝統的な和漆器や現代のライフスタイルにあわせた漆器を企画・販売されています。「海外への販路拡大を目指して、デザイン性が高く、日常使いができる洋食器の開発にも取り組んでいます」と沖野社長。漆塗りの伝統技法をもとに、海外で好まれる木のナチュラルな木地、繊細で美しいデザインによるカップやポウル、パスタ皿といった商品を開発し、「MOKU」ブランドで展開されています。昨年度は本所事業を通じて、海外の展示会で同ブランドの商品を発表。本年11月に開催する本所「知恵ビジネスメッセ」にも出展されます。

同社の取り組みに対して、立石会頭は、「伝統産業の強みを活かした商品開発で新たな顧客を創造している」「本所事業を活用し、京都ブランドの価値を広く発信してほしい」と述べました。